

# NPO 法人 MIS 団体概要

2024 年 9 月 24 日

## 【基本情報】

団体名	特定非営利活動法人 MIS (Multilateral Interaction with Students)
設立	2011 年 12 月 (法人格取得は 2013 年 7 月)
所在地	東京都文京区千石 4-9-10 パークサイド秋 203
問い合わせ先	E-mail : info@misleaders.org 電話 : 080-3304-0415 FAX : 042-773-6653 ホームページ : <a href="http://misleaders.org">http://misleaders.org</a>
代表者	園田逸翔 (東京大学経済学部 3 年) E-mail : hayato.sonoda@misleaders.org
特別顧問	関谷雄一 (東京大学大学院 総合文化研究科准教授) E-mail : sekiya@anthro.c.u-tokyo.ac.jp
団体理念	グローバルな課題を、多国間のパートナーとの協働を通じて解決することのできる、次世代リーダーの育成・輩出。
団体概要	<p>MIS(Multilateral Interaction with Students)とは、東京大学の国際交流を目的とする NPO 法人であり、東南アジアの学生との交流を通じて、東南アジアの社会問題を解決するプロジェクトを実行する傍ら、毎年東南アジアの学生と日本の学生の国際会議を運営している団体でございます。今年度は、プロジェクト実行の面では、タイ・ミャンマー国境地域チームがミャンマーからの難民への教育支援、ベトナムチームが技能実習生への日本語教育支援をそれぞれ行っております。また国際会議の運営では、JENESYS プログラムの一環である東南アジアと日本の大学生を対象とした日 ASEAN 学生会議の運営、高校生を対象とする日 ASEAN ユースサミットに立ち上げを行っております。</p> <p>毎年度の活動スケジュールについて、基本的に夏(8~9 月)、春(2~3 月)の年 2 回東南アジア各国への渡航を行い、現地で各チームのプロジェクトを実行しています。渡航期間以外は、プロジェクトチームごとに年 30 回ほどのミーティングを行い、プロジェクトの準備を進めるほか、プロジェクトを円滑に進めるためのマネジメント手法の学習などを行っております。</p> <p>MIS の最大の特長は、各国に提携先と呼ばれる現地の学生団体や学校法人が存在する点です。彼らの存在によって、より現地の実情に沿ったプロジェクトが実現でき、渡航期間外での視察や効果測定が可能となっています。さらに、同じ学生である彼らとともにプロジェクト</p>

	<p>を企画/実行することは、国際交流や国際理解の促進という側面も有しています。理念にもあるように、プロジェクトの質を追求する過程で、提携先の学生も「次世代リーダー」に育成することが我々の目標であり、単に我々のプロジェクトを手伝ってもらうのではなく、お互いに問題意識を共有しつつ「協働」することを普段から心がけています。</p> <p>また、実際の MIS の活動においては、私たちは「問題発見→議論→実行→反省」というサイクルを繰り返すことが重視しています。まず、「問題発見」のフェーズでは、現地の学生の問題意識や、日本人から見た新しい視点などをもって現地のフィールドワークを行い、現地社会にどういった問題があるのかを探ることから始めます。しかし、そこで挙げた問題が必ずしも解決すべき、かつ私たちで解決しうる問題であるとは限らないため、次にその問題が本当にプロジェクトを組むべき問題であるのか「議論」し検証します。議論は、どの問題を扱うかから始まり、その解決プロジェクトの手段は適切か、などプロジェクト実行までのあらゆる時点で行われます。そしていよいよ議論を重ねて計画されたプロジェクトを「実行」します。実行して始めて認識できるプロジェクトの長所/短所は多くあるため、それらを受けて最後にきちんと「反省」することにより、プロジェクトの質を高め、次の世代に引き継いでいきます。私たちは、このような問題解決サイクルを重視して、活動に取り組んでいます。</p>
会員数	74 名 (2024 年 9 月現在)

### 【沿革】

2011 年	12 月	長谷川大希、谷雄太により東京大学の学生団体として、MIS が設立される。
2012 年	4 月	JCSI (カンボジア)、ファシリテーション部門設立。
	9 月	新規ネットワーク部門設立。
2013 年	4 月	新規ネットワーク部門に JSSI (シンガポール)、JPSI (フィリピン)、JVSI (ベトナム) を設立。
	7 月	MIS が NPO 法人格を取得。
	10 月	新規ネットワーク部門と JCSI を統合して、ネットワーク部門へ。
2014 年	4 月	ネットワーク部門に JISI (インドネシア)、JBSI (ミャンマー) を設立。
	8 月	カンボジア、コンポチュナンにて初の「Multilateral Project」を実施。

	9月	ネットワーク部門に JDSI (ダッカ) チームを設立。
2015年	4月	ネットワーク部門に JMSI (マレーシア) を設立。
	8月	日本にて初の「Experience Japan Project」を実施。
2016年	3月	欠員多数のため JSSI 活動休止。
		現地の治安悪化のため JDSI (旧ダッカ) が渡航を中止、拠点をデリーに移す。
	4月	Experience Japan Project が JOSI (日本) としてネットワーク部門に移転。
2017年	8月	マレーシア、クアラルンプールにて第二回「Multilateral Project」を実施。
2018年	10月	ファシリテーション部門が内務部門と外務部門に分裂。事務部門を設立し、会計部と渡航リスク管理部を移転。
	11月	欠員多数のため JCSI 活動休止。
2019年	2月	外務省の JENESYS プログラムの一環として、一般財団法人日本国際協力センター (JICE) が主催する「JENESYS2018 学生会議」の企画・運営を MIS が担当。
	4月	活動拠点の増加に伴い、JVSI が JVSI フェチームと JVSI ホーチミンチームに分化。
2020年	2月	外務省の JENESYS プログラムの一環として、JTB が主催する「日 ASEAN 学生会議 2019」の企画・運営を担当。
	5月	JOSI (日本) が活動を休止。
2021年	2月	外務省の JENESYS プログラムの一環として、JICE が主催する「JENESYS2021 日 ASEAN オンライン交流」の企画・運営を担当。
2022年	2月	外務省の JENESYS プログラムの一環として、JICE が主催する「JENES2022 日 ASEAN ユースリーダー交流」の企画・運営を担当。
2023年	3月	新型コロナウイルス感染症の影響による海外渡航活動の中止に伴い、既存の部門を再編成。 事務部門、ミャンマーチーム、日 ASEAN 学生会議実行委員会、からなる新体制へ移行。
2023年	4月	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、海外渡航活動を再開。 それに伴い、事務部門、プロジェクト実行部門 (タイミャンマー、ベトナム)、国際会議部門 (ユースサミット、日アセ) からなる新体制へ移行。
2024年	4月	プロジェクト実行部門においてフィリピンチームが設立。

【組織図】

